

SSH 国内サイエンスツアー(内浦山野外実習)

千葉県鴨川市にある内浦山県民の森で野外実習を行いました。日程は学年で分かれていて、1年生は8月24日(水)～8月26日(金)に普通科3名、理数科39名の計42名(写真①～③)、2年生は10月1日(土)～10月3日(月)に普通科5名、理数科34名の計39名(写真④～⑦)が参加しました。2年生は本来昨年度の野外実習に参加する予定でしたが、直前の台風の影響で中止になり、今回念願の野外実習を実施することができました。

1日目は森林調査実習で、斜面林に入り、1辺7mのコドラートを設置して班ごとに樹木の高さや胸高直径、座標、被度などの計測、樹種の確認、樹冠投影図や植生断面図の作成をしました。その後、別の山で急斜面を這い登り、道なき道を進んで到達したモミの遺存林を観察しました。宿舎に戻り、夕食後は会議室で実習のまとめとして、各班が模造紙に測定結果を書き込み、作品は宿舎廊下に展示発表をしました。夜の学習会終了後は屋外に出て、満天の星空と天の川を見ながら太陽系と銀河系の講義を受けました。

2日目は午前中片道約5kmの林道沿いにいくつかある露頭にて地学実習を行い、地層の詳細な観察から千葉県がどのように出来てきたかを考察しました。昼食は東京大学千葉演習林の周辺でとりました。午後は生物実習で、主に植物の同定や鑑別点等について、現物を前に解説を聴きました。夜はこの日観察した植物約20～30種類程度の植物を分類する「葉っぱテスト」も行われました。

3日は千葉大学海洋バイオシステム研究センターに移動し、センター内の展示室を見学し、特別な許可を得て岩礁に入りました(漁業権に関しても地元漁協からの許可を得ています)。岩礁棲生物の観察や潮汐の様子と原理の学習をしました。

今年度は2回に分けての実施となったため、実施回によって季節が異なり、観察できる動物や植物にも違いがありました。その季節も考慮しつつ、2日目の「葉っぱテスト」では名前が似るもの、形や特徴が似るもの、同じタクソンに属するものを中心に選択するなど、工夫して出題しました。佐倉高校では今後も野外実習を工夫して実施していきます。



↑写真① ↓写真②



↑写真③ ↓写真④



↑写真⑤



↑写真⑥



↑写真⑦